



1日だけではもったいない！ 年中紙風船上げができれば

折笠 靖子



「紙風船上げは魅力がいっぱい」と話す折笠さん。

ないと思います。年中、紙風船体験ができるように、今回地域の皆さんと一緒にイベントを企画しました。「まだ紙風船上げは続いていますか?」「秋田内陸線に乗りたくないけれど、オスヌメの降車駅がわからない」というお客さまの不安や疑問も解消できます。

窓口へのお申し込みが必要です。なんと内陸線を利用していただくと、体験料が割引になります。小学生以下は無料です(大人の方と一緒に参加くださいね)。

今年も紙風船上げは終了しました。しかし「紙風船上げ」は素敵なイベントだけに、1日だけではもったいない



折笠さんの気持ちはすでに来年の紙風船上げに向かっています。皆さんで盛り上げましょう!

こんにちは。今回は私がお手伝いしているイベント『幸せの小さな紙風船上げ』のご紹介です。

現在、仙北市へいらっしゃる観光客の方々の内陸線利用は、角館駅―松葉駅間がメインです。それを紙風船の里である上松木内駅まで伸ばそうと考え、地域住民で組織している「秋田内陸線を守る会」が中心となって活動を

まちづくり日記 No.145

『思いを伝えると...』

仙北市長 門脇 光浩

たまに「FMはなび」を聞きます。大仙市のコミュニティ・ラジオで、地域の話題や防災、暮らしのお知らせなどを分かりやすく伝えてくれます。

多くの懇談会や市議会提議を受け、ほぼ職員が手づくりで仕上げました。ぜひ活用して行政と繋がってください。

実は、仙北市もコミュニティ・ラジオ局の開設に向け、市民の皆さんとプロジェクトチームを立ち上げたことがあります。特に東日本大震災以後は、防災情報の発信力を高めたくて議論を加速しました。私も各地のラジオ局を訪問し、お話を聞いて歩きました。地元ラジオ局があれば...、さまざまな市民の思いを、たくさんの方が耳にできて、それは絶対まちづくりの力になるとの考えです。

例えば「田沢湖の温泉熱を活用したバナナ栽培」だったり、「角館の酒造会社の再生復活」や「西木の河川活用型天然プールづくり」などです。いつも会合でお話しますが、話すことで面白いように情報が集まります。温泉バナナは、山形県のもがみ中央農協が戸沢村の温泉で実験中だよとか、「北海道上川町では、民間企業が酒造免許を道外から移転して営業を始めたよ」とか、「河川天然プールは、国の親水事業などで実現できるよ」とか...

人間が思い描く「夢や希望」は、現状を改善する力です。大切なのは、その思いを周囲に伝えること。思いは話さなければ伝わりません。

「よし、春が来たら〇〇を始めよう」を決めたら、それを誰かに話してみてください。最も寒い季節ですが、昨日より熱く過すことが出来るはずです。

かくのだてフィルムコミッション

ロケーションだより

Kakunodate Film Commission

かくのだてフィルムコミッション (仙北市観光課内) ☎43-3352 <http://kakunodate-fc.jp/>

今年には雪が少なく、住民にとっては生活しやすいのですが、雪景色を撮影したいロケ隊からは、残念がる声が続々聞こえてきそうです。

さて、秋田県内で撮影が行われた映画2作品が今年に入ってから公開されました。

1つ目は、俳優の山田孝之さんがプロデュースし、秋田市、鹿角市、三種町で撮影が行われた映画「ディ・アンドナイト」(藤井道人監督)です。1月19日から全国に先駆けて秋田県各所で公開されました。県内でも話題に上った作品で、ロケ地を巡るツアーも3月に企画され、地域の魅力づくりに繋げようとしているようです。



「君から目が離せない」撮影シーン。

今後とも皆さまの協力をよろしくお願い致します。

(会長 坂本 洋)